

さぽせん あいかわ

第6号

平成22年2月15日発行

編集・発行 あいかわ町民活動サポートセンター
運営委員会

あいかわ町民活動サポートセンター

住所 愛川町角田251番地1
電話 046-205-1323 FAX 046-205-1324
<http://town.aikawa.kanagawa.jp/saposen/index.htm>

サポートセンターの使命を胸に

—4年目を迎えるにあたって—

ボランティアやNPO、自治会、サークルなど町民皆さんの自主的・自立的な公益活動を応援する施設として平成19年3月にオープンした「あいかわ町民活動サポートセンター」は、来月10日で3周年を迎えます。

この間、公益活動を担う人材育成を目的として平成18年に町が開催した「愛づくりスクール」の受講者がスタッフ・運営委員となってセンターの運営に携わり、利用者に役立つ活動拠点となるよう奮闘してきました。

お陰様で平成22年1月末現在、公益活動登録団体は88団体、利用者数は延べ11,089人となっております、パソコンやコピー機、印

刷機の利用、フリースペースでの打ち合わせなど、ボランティアの方や公益活動に携わる多くの方々にご利用いただき、大変喜ばれています。

これからもボランティアでお願いしている運営委員の協力を得ながら、公益活動団体間の交流をはじめ、公益活動に関心をお持ちの方への情報提供や助成金制度に関する相談業務などを充実するとともに、町民皆さんと行政とがお互いに協力し合うことでより一層良好なパートナーシップを築き、協働のまちづくりが推進されるよう努力していきたいと思っております。

運営委員長 諏訪部 勲

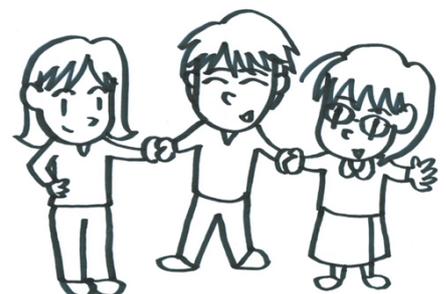
サポートセンター利用者懇談会開催

利用者の皆さんと共に考え、共に創りあげていく町民皆さんが主役のサポートセンターを目指すため、利用者懇談会(パネルディスカッション方式)を開催します。

みなさんの参加をお待ちしています。

- 日 時 : 2月24日(水)午後1時30分から午後4時まで
- 会 場 : あいかわ町民活動サポートセンター(庁舎分館1階)
- テマ : サポートセンター利用者への支援について
『—近隣市のサポートセンターと共に考えよう—』
- パネラー : 座間市・綾瀬市・平塚市サポートセンタースタッフ
- 問い合わせ : あいかわ町民活動サポートセンター TEL205-1323
行政推進課 TEL285-6925(直通)

※事前申し込みの必要はありません。当日直接会場にお越しください。



皆様も助成金を利用してみませんか？

サポートセンターには、現在88団体が登録しています。活発な活動が続けられていますが、どの団体にも共通している問題に、会員不足、会員の高齢化、資金不足などがあります。

会費などだけで事業を行っているところがほとんどで、講師をまねいての講演会やスキルアップに使う資金は潤沢ではありません。

町では、そうした団体に対し資金面の援助として、町民アイデアまちづくり事業が終了した昨年度から、「あいかわ町民活動応援事業」を行っています。また、神奈川

県ではボランティア活動を推進するために「かながわボランティア活動推進基金21」を設置しています。

金額も対象もさまざまに設定され、対象者もNPO法人から法人格を持たない団体・個人まで含まれます。

そのほかにも助成事業がたくさんあります。最初からハードルが高いと思わずに、サポートセンターでは、団体に合った助成金情報を探すお手伝いをしています。

ここにはサポートセンターが申請を後押しした団体を紹介します。

助成金を受けた登録団体の紹介

<中央ろうきん助成プログラム>

■趣旨 未来の財産となる「ひと」を育て、魅力的で住みよい「まち」をつくり、多様な生きかたを認め合う「くらし」を実現する活動を公募・審査の上助成します。

■対象 中央ろうきん営業エリア内1都7県で活動するボランティアグループ、市民団体(NPO)を対象に助成。

■助成額 上限30万円

■助成を受けた団体

’08年、’09年 あいかわ自然ネットワーク (世代を結ぶ農の恵み、田んぼの生き物調査)

<生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ市民活動応援プログラム>

■趣旨 神奈川県内で環境や福祉、子育て、地域づくりなどの市民活動を行っている団体に対し助成します。

■対象 福祉、環境、国際交流、平和・人権、教育、芸術、スポーツ、まちづくりなどの分野で地域に貢献する活動。

■助成額 上限30万円

■助成を受けた団体

’08年 愛川国際交流クラブ(多言語・人数増加の対応のため、備品整備と教材作成の辞典補充)

ゴミを拾う会 (安全強化のためのベスト、ゴム手袋、草刈用機材購入)

’09年 愛川福祉懇話会 (宿泊体験・休日交流スペースに必要な備品)

<あいかわ町民活動応援事業>

■趣旨 町民皆さんが自主的・自立的に行う、公益的な活動を資金面からバックアップする制度です。

■対象 団体が新たに企画・立案した、公益的な事業。

■助成額 ①スタート補助 上限10万円 ②ステップアップ補助 上限30万円(補助対象経費の10分の8以内)

■助成を受けた団体

’08年

サークル愛川自然観察会 (野外観察会)

六倉あるこーかい (愛川六倉ウォーキングロード周辺山づくり)

半原まつり研究会 (太鼓・チンドン屋指導)

’09年

おもちゃの病院愛川 (防犯ブザー点検事業)

サークル愛川自然観察会 (野外観察会)

安全な食を考える会 (大豆の有機栽培とみそ・豆腐の加工)

愛川福祉懇話会 (共生のまちづくり事業)

その他、助成金制度を活用している団体がありましたら、サポートセンターに情報をお寄せください。

また、県のサポートセンターの助成金情報の冊子がありますので参考にしてください。



サポートセンター助成金コーナー

子育て支援ボランティア「いちごの会」主催
子育て支援ボランティア養成講座参加者募集

子育ての現状や地域の子育て支援の大切さについて学びます。学んだ知識を家庭や地域の子育てや交流の場で生かしてみませんか？

◆日時 2月15日(月)、17日(水)、22日(月) 13時30分～15時30分
◆内容 講義、シンポジウム
◆対象者 子育て中の方、子育て支援に関心のある方
◆会場 町福祉センター3階 会議室

サポセン歳時記

スタッフ
(J・Y)

—この1年をふりかえって—



4年目を迎えておかげさまでサポセンスタッフ・運営委員の私たちも、成長の手応えが感じられるようになってきました。

サポセンの1年を、よく利用されている登録団体さんとともにご紹介いたします。



春

サポセンの利用団体さんでは決算と総会の季節です。サポセンにみなさんが総会資料の印刷や作成にいらっしやいます。

サポセンには閲覧用PCが2台あります。印刷物はデータをお持ちになればカラーでもプリントできます。また、モノクロであれば高速かつ非常に安価に使える印刷機もあります。(印刷機ご利用の際は用紙をお持ちいただくようお願いします)

サポセンはボランティアを通じて、愛川町のこれからのまちづくりをみなさんといっしょにやっこうという委員とスタッフで運営している場所です。春になるたびに、委員もスタッフも、みな志をさらに新たにします。

「バリアフリー・まち点検実行委員会」さんもサポセンに登録しています。息の長い活動で県の「第1回バリアフリーまちづくり賞」に輝く皆さんも、サポセンをご利用です。待ち合わせ・打合せから印刷物の作業などに、サポセンのフリースペースはどなたでもご予約なしでご自由にお使いいただけます。

夏

緑と水の季節、サポセンにもさまざまなかたがいらっしやる季節です。

「拡大写本しおさい」さんは定期的にいっしやいます。視力を助ける拡大写本という印刷物作成について、なかなか難しいリクエストを頂きましたが、お陰で私もずいぶん勉強になりました。読んで下さる方々への熱意に、私も心打たれる日々です。

また、夏休みで川遊びやレジャーの季節、「太陽の村」さんなども独自イベントのお知らせ等をお持ちになります。イベント、楽しそうです。

通年では、「愛川自然観察会」さんなどが定期的には『あいかわの自然誌』という植物等の写真と解説の掲示を届けて下さいます。愛川の豊かな自然をつくる草花について、大変勉強になります。

また、「ハリマオサッカークラブ」さんや「愛川テニール愛好会」さん、「愛甲郡陸上競技協会」さんといったスポーツ系の団体さんが競技用の印刷物を作る作業にいっしやいます。

秋

秋は愛川町のイベントシーズンです。

とくに愛川ふるさとまつりでは、サポセン自身も出展しますが、パネル展示としてさらに多くの団体さんの展示を行ないます。「北條手作り甲冑隊」さんの甲冑の展示も屋内でしました。まさに圧巻でした。

それとは別に、また、「日本の竹ファンクラブ」さんの活動も通年です。竹林の間伐のあと竹の食器でお食事を行なうとのこと。自然を守りながら食欲も満たされるという素晴らしさ。「愛・ふるさと」さんが保護活動をしているカワラノギク鑑賞会もこの時期です。希少種から復活した可憐なお花の群生の鑑賞会。いいですね。ここでもちょっとした食べ物も。ますますいいですね!(でもメタバに注意)

冬

冬は年の瀬で比較的空いている時期ですが、わたしたちスタッフはこの時期を使って団体さんの情報を集めて読み込んだり、またPCサポート等で利用者さんのお手伝いをしながら、お話をうかがいます。

利用者さんにじっくり、この自然と街並みの調和する愛川町の、これからのまちづくりや魅力についてうかがえる季節で、うかがったお話から、サポセンとして新年、そして春の活動に向けて準備をします。これもまた、サポセンのスタッフや委員の喜びとする活動です。

また、「あいかわアートプロジェクト」さんも、不定期ですがアートの鑑賞会を行っています。古民家山十邸で行なわれた風鈴演奏鑑賞は実に心に響きました。アートもまたまちづくりに必要なものです。

愛川町には、サポセンへの登録団体だけでも88の団体があり、それぞれに熱心に活動しています。

そしてサポセンは新年と、逃げるという2月をすぎ、再び春を迎えます。

このようにサポセンは1年を活動し、今年は4年目に入ります。

サポセンは町役場の消防署側、シルバー人材センターと同じ建物ですが、ちょっと奥まったところにあります。

休館日は毎週水曜日・年末年始・施設点検日です。

みなさんのご利用をお待ちしております!



シリーズ さぼせん 利用団体探訪

春日台ふれあい会

◎横顔

設立：平成10年2月20日

地域の民生委員、自治会長が中心となり、ボランティアを募って発足した会です。

この会は、高齢者や障害者の健康保持と相互の親睦を図ることを目的とし、毎月定例会議をもった後、月1回のふれあい会活動を実施しています。各種ゲームや歌、体操、小物づくり、バス旅行等々、約20人のボランティアの特技を生かして、毎月アイデアあふれる楽しい催しが行われています。

家から出て春日台会館に集まり、ふれあい、おしゃべりをし、おやつも食べて、元気を分け合っています。



◎連絡先

代表 神田政晴 TEL 046-285-2412

◎代表の声

新しい利用者、ボランティアにどんどん入会してもらいたいと思っています。

また、利用者さんは、人生の先輩として是非お手本にしたいです。

◎探訪感想

取材日は「クリスマス会」で総勢51名の参加者が恒例の「身体ほぐし」でスタート！

これで皆の体調等がわかるそうです。できればボランティアから利用者へ回りたいとの声も。

「幸せは手の中にあるよ」、この日のサンタさんの言葉だった。

愛川ウエルネスネットワーク

◎横顔

設立：平成8年4月

平成8年、4つの健康づくりサークルが集まって「愛川ウエルネスネットワーク」が生まれました。健康や体力の維持・向上のために運動を週1回よりは週2~3回行うのが理想と、サークル間の垣根を取り払い自由に行き来できるシステムに改善されて、自分の予定に合わせ週何回でも気軽に身体を動かせるようになりました。エアロビクスだけでなく、ストレッチ・ダンス・リラクゼーションなど現在は7つのサークルの会員が毎週レッスンを楽しんでいます。また「いつでも、だれでも、いつまでも」複数の種目が楽しめる『総合型地域スポーツクラブ』設立に向けて現在活動中です。



◎連絡先

代表 小林光子 TEL 046-281-6300

◎代表の声

『ウエルネスを見つけよう！わたしサイズの健康法』を合い言葉に、地域住民のためのスポーツクラブを目指しています。年齢に関係なく、様々なジャンルのレッスンを自分の都合で自由に選んで楽しめます。いつまでも生き生き健康に暮らせるように……皆様の体験をお待ちしていま〜す！

◎探訪感想

幅広い年齢層で音楽に合わせ楽しくウォーキングやソフトボールを使った体操をしました。頑張りすぎない、あきらめない、その人なりの体力に合わせていろんな運動が楽しめるし、曜日や時間を選べるのもいいですね。手軽で簡単、また行きたいと思いました。

編集後記

あいかわ町民活動サポートセンターは、来月で4年目に入りますが、この3年間は、試行錯誤の時期だったと思います。運営委員・スタッフがそれぞれの思いをぶつけあい、少しずつ形になり、また成果も上がってきました。「さぼせんあいかわ」も今回で第6号を発行することができました。皆様に親しまれる広報誌を目指していきます。(M・W)